

「伝線が拡がりにくい」丈夫さと透明感を両立した業界初のストッキングを開発

～旭化成せんいの「ロイカ®SF」 20 デニール をレッグに使用～

アツギ株式会社（本社：神奈川県海老名市/社長：藤本義治）は、旭化成せんい株式会社（本社：大阪府大阪市/社長：坂本正樹）の「ロイカ®SF」20 デニールを使用した、丈夫さと透明感を両立した業界初のストッキングを共同開発しましたのでお知らせ致します。

今回の新商品は、旭化成せんいの熱合着性能に優れるポリウレタン系「ロイカ®SF」20 デニールとアツギ独自の加工技術の組合せにより、透明感を保持しながら「伝線（ラン）が拡がりにくい」という性能を実現したストッキングです。

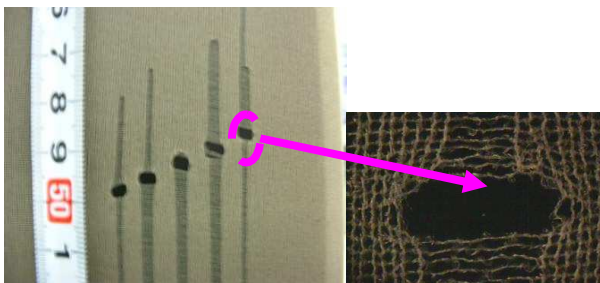
ストッキングは、女性の脚を美しく見せるため透明感が重視される傾向にあり、透明感と丈夫さを両立させることは、長年の課題でした。当社では、以前からランが拡がりにくいストッキングを販売しておりますが、編み方によってランの拡がりを抑えているため、透明感や生地感が損なわれるというデメリットがありました。

今回の新商品は、「ロイカ®SF」20 デニールをレッグに使用することにより、透明感や生地の美しさを損なうことなくランを抑えることを実現しています。なお、新商品の発売時期・価格などは、決定次第順次お知らせしていく予定です。

1. ランが拡がりにくい

<従来品との比較> ストッキングのレッグ部分に、編み目と同方向に5ミリ間隔で糸を切断し、ランの拡がりを確認すると、下記のような違いが得られます。

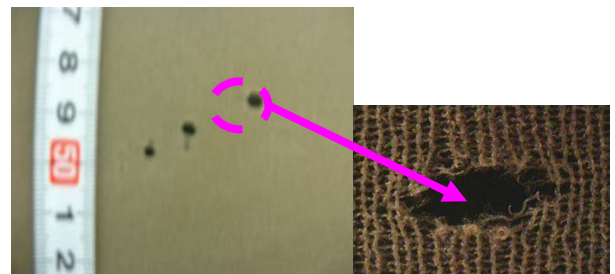
糸使い：ナイロン 12/7f × ポリウレタン 20 デニール



拡大図

従来品

切断した箇所から、ランが広がっている



拡大図

新商品

切断した箇所から、ランの拡がりあまり見られない

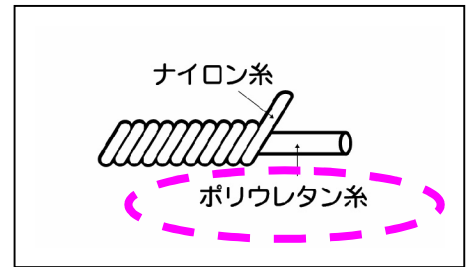
* ラン = 伝線 = ストッキングなどの糸のほつれが縦状にひろがること

2. ランの拡がりを抑える仕組み

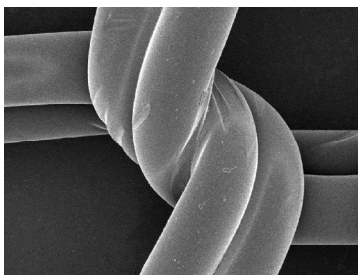
ゾッキタイプのストッキングは、一般的に右図のようにポリウレタン糸に、ナイロンを巻きつけた糸（カバーリング糸）で編まれています。今回は、この芯糸となるポリウレタンに、染色やセット時に与えられる熱により、糸同士が食い込むように合着し離れにくくなる¹⁾

「ロイカ®SF」20 デニールを使用しました。

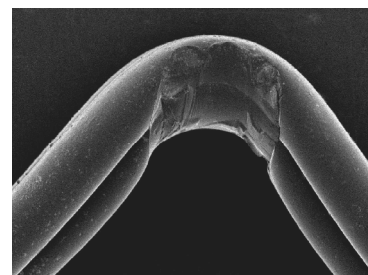
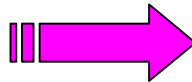
さらに、アツギが独自に開発した加工技術を組み合わせることにより、ストッキングのループ同士が離れにくくなり、ランの拡がりを抑えます。



1): 【「ロイカ®SF」糸の熱合着部分拡大写真】



糸同士が接触している部分が合着している状態



合着していた糸同士を離した状態

- * 「ロイカ®」は旭化成せんい株式会社の登録商標です。
- * 上の拡大写真は旭化成せんい(株)より提供を受けたものです。

以上

本件のお問合せ先：アツギ株式会社 マーケティング部

担当：北/島田（午前9：00～午後5：30まで）

お問合せ専用電話番号：046-235-2450

会社名：アツギ株式会社

代表者氏名：代表取締役社長 藤本義治

資本金：317 億円

本社所在地：神奈川県海老名市大谷 3905 番地

お問い合わせ先：TEL:046-235-2450 FAX:046-232-7507
